



Cradle 高校生編集部が行く スゴハイ⁸

SUGOI high school students in Shonai

Supported by
庄内広域行政組合、山形県庄内総合支庁



激戦を勝ち抜いてきた精鋭たちが全国から集まり、真のNo.1を決める高校生スポーツの頂上決戦、インターハイ。彼らが全力でぶつかり合えるよう、開催地で着々と準備を進めてきた高校生たちがいる。ここ庄内でも、100名近い高校生たちが高校生活動推進委員会として、約2年間にわたり広報活動など準備に取り組んできた。4月23日、その集大成の一つとなる100日前カウントダウンイベントが、庄内の2会場を含む県内5会場で同時に開催された。

鶴岡のエスマールを会場に開催された田川地区のカウントダウンイベントでは、鶴岡北高校の音楽部や鶴岡中央高校の天魄太鼓部による演奏などの他、鶴岡工業高校のバドミントン部による実演が行われた。バドミントン競技が鶴岡開催ということもあり、とても気

松浦直輝さん
鶴岡工業高校3年



取材テーマ

大舞台を目指す・支える高校生

この夏、山形、宮城、福島の3県を舞台に開催される南東北総体。45年ぶりに地元で開催されるインターハイに向けて、選手として運営担当として頑張る高校生たちを紹介します。

金子南奈さん
酒田光陵高校3年

の発表の中で特に印象的だったのが、酒田光陵高校書道部によるパフォーマンス。飽海地区推進委員長、酒田光陵高校3年生の金子南奈さんが想いを込めて選んだ曲に合わせ、部員が選手たちへのメッセージを大きな紙に書きあげた。自らも高校1年生まではバスケットボールをプレーしてきたという金子さん。「プレーヤーとしての経験をいかして、選手の気持ちにしっかりと届くような応援をしていきたいと思っています」と力を込めた。



迫のこもったプレーであった。

「インターハイ当日は、地元の方もぜひ一緒に盛り上げていただきたい」と会場に呼びかけたのは、推進委員を束ね、企画から会場設営、イベントの進行までを指揮した田川地区推進委員長、鶴岡工業高校3年生の松浦直輝さん。「このイベントをきっかけに、1人でも多くの方に地元でインターハイが開催されることを知っていただき、当日訪れると予想される8万人の方々とともに頑張る高校生たちに声援を送ってほしいですね」。

一方、飽海地区のカウントダウンイベントは、東北公益文科大学の公益ホールで開催された。酒田が体操競技の会場ということ、アテネ五輪男子体操団体総合金メダリスト塚原直也さんのトークショーが行われた。小学生から高校生まで多くの体操選手が詰めかけ、塚原さんが発する一言一言に真剣に耳を傾けた。また、高校生

仲間の闘いを支える縁の下の力持ちたち。

注目してほしい。もちろん、彼らの頑張りにもぜひ注目してほしい。

※作品は、現在酒田市国体記念体育館に展示されています。



編集後記

45年ぶりの地元開催となるインターハイに向けた推進委員の方の熱い想いを聞いたり、イベントを盛り上げるパフォーマンスを見たりなど、貴重な経験ができました。県内外から訪れる選手、観客の皆さんに庄内の魅力を存分に味わってほしいです。(ほのか)

バドミントンの強豪校である鶴岡工業高校へ行き、インターハイに向けての意気込みや、これからの課題など、貴重なお話を聞くことができました。練習風景を見に行くと、部員全員が本気で練習していることが感じられ、彼らのように本気で部活に取り組んでいるかと思いました。(みさと)

庄内総合高校体操部を取材し、とても緊張しましたが、間近で選手の演技を見たり、インターハイへの意気込みを聞き、自分も見習いたいと思いました。初めてスゴハイの取材などを担当し不安もありましたが、無事に書き上げることができました。(なおみ)

編集部員&特ダネ
まだまだ募集中!

鶴北高新聞部と一緒に「スゴハイ」の企画制作をやりたい高校生、「こんなスゴい高校生知ってる」「私、スゴいんです」などスゴい高校生の情報は随時募集中です。お気軽にご連絡ください。

ご応募・お問い合わせ先
Cradle事務局
info@cradle-ds.jp

編集・文=Cradle高校生編集部、工藤 拓也
写真=岡 真由美
協力=庄内総合高等学校、鶴岡工業高等学校、酒田光陵高等学校、鶴岡北高等学校

音が体育館に響き渡っていた。「今年はみんな、とにかく元気がいいですね」とキャプテンを務める3年生の伊藤躍人さんは言う。「元気がいい分、主張がぶつかり合うこともあるんですが、どちら



伊藤躍人さん
鶴岡工業高校3年



佐藤総飛さん
鶴岡工業高校3年

かを否定するのではなく、どちらの主張もいかしてプラスになるようなチームづくりを心がけています。プレーでチームを引っ張るのは3年生の佐藤総飛さん。「小さい頃から、バドミントンを続けられたのは、たくさんの地元の人の支えがあったからだと思っています。その恩返しという意味でも、自分の持ち味である攻撃的なプレーをして、1つでも多く勝ちたいですね。チームのみんなも、地元開催ということでこのチームよりも勝ちたいという気持ちが強いです。ぜひ会場で、鶴工バドミントン部の気迫のこもったプレーを見てほしいです。」

45年ぶりの開催となる、山形県

大会情報

体操
日程 ◎ 8/2(水)~4(金)
会場 ◎ 酒田市国体記念体育館[酒田市飯森山2-296-1]

バドミントン
日程(※1) ◎ 7/30(日)~8/3(木)
会場(※2) ◎ 小真木原総合体育館[鶴岡市小真木原町2-1] 藤島体育館[鶴岡市藤の花1-1-1]

※1: 会場により、会期中でも試合が行われない日があります。
※2: 新庄会場、尾花沢会場でも試合が行われます。

競技日程・会場について
<http://2017soutai.jp/kyougi/>

みんなに
応援に行きたい



新入部員も
大活躍で、
たのもし!!



でのインターハイ。地元会場に足を運んで、庄内の高校生たちが頑張る姿を目に焼きつけてほしい。

庄内総合高校
体操部

監督
佐藤勇志先生



もちろん選手たちだって負けてはいない。地元庄内での晴れ舞台の出場権を獲得しさらに力を込めて練習に励む、庄内総合高校体操部、鶴岡工業高校バドミントン部に伺った。



亀山雄矢さん
庄内総合高校3年

庄内総合高校体操部は、今年創部52年目を迎える伝統ある部だ。元日本代表、世界選手権銅メダリストである佐藤勇志先生のもと、3年生7名、2年生2名、1年生3名の計12名の部員が日々技を磨いている。6月に行われた県総体で団体優勝を果たし、インターハイ出場は20年連続となる。「すべての種目において、安定した演技ができるのが強みです」と語るのは3年生の亀山雄矢さん。練習中

最高の演技で、全力のプレーで、地元を沸かせたい。

はキャプテンとして声を出し練習を盛り上げ、試合となればエースとして演技でチームを引っ張る。「日本らしい美しい体操で、決勝進出を目指します。ぜひ応援に来てください」と力強く語った。20年来、県内トップクラスの成績を収め続けている鶴岡工業高校

バドミントン部。県総体では惜しくも決勝で敗れたものの、インターハイ本番での雪辱を期し、さらなるレベルアップに向けて激しい練習に取り組んでいる。「筋力トレーニングにも力を入れている」という監督の小野和之先生の言葉通り、シャトルを打つ力強い

飛必冲天

山形県立鶴岡工業高等学校 バドミントン部



監督
小野和之先生

鶴岡工業高校
バドミントン部